

2024年(令和6年)下期 景気動向調査結果

～景況感是一部で持ち直しがみられるものの

「仕入・原材料価格の上昇」「人件費の増加・人手不足」が継続的な課題～

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2024年7月1日から2024年12月31日(2024年(令和6年)下期)
- 調査実施期間 : 2025年1月6日から2025年2月5日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・副会長・女性会・青年部・振興委員等 550 事業所
- 回答数 : 回収数 112 (回収率 20.4%)

業種		従業員数	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製造業			7	11	6	4	8	36
非製造業	建設業		1	4	2	2	2	11
	小売業		5	4	1	1	2	13
	卸売業		3	3	4	2	2	14
	サービス業		5	9	4	5	8	31
	その他業		2	0	2	0	3	7
合 計			23	31	19	14	25	112

● 概 要

【業況】

・製造業は悪化し、令和3年上期以来、7期ぶりにマイナス域(▲2.8)。

製造業の景況感は、仕入・原材料価格の高騰や景気低迷、需要減退等を原因として悪化。一方、売上、採算では、価格転嫁や企業努力(経費の見直し・業務効率化等)による売上の増加が採算にも現れ、採算は6期ぶりにプラス域の改善。

・非製造業全体では、ほぼ横ばいで推移するも低い水準。業種により濃淡が鮮明。卸売業は大幅悪化、小売業、サービス業、その他業では改善。

【売上】

・製造業、非製造業全体では、価格転嫁の促進もあり前期より大幅改善。

・非製造業の業種別では、卸売業が大幅に悪化しマイナス域に。悪化の要因は、販売数の減少や木材価格の下落等。

【採算】

・製造業、非製造業全体では改善。

・非製造業は、業種により濃淡が鮮明。建設業、その他業は、改善するも未だマイナス域。卸売業は大幅に悪化。

悪化の要因は、人件費を含む経費の増加や価格転嫁難。

【仕入単価】

・製造業、非製造業の今期、来期予想ともマイナスDI値が高く、引続き仕入単価の高騰が続くことが予想されている。

【直面している課題】

・製造業では、「仕入・原材料単価の上昇」、「需要の停滞」、「従業員・熟練技術者の確保難」が上位。

・非製造業では、「仕入・原材料単価の上昇」、「人件費の増加」、「従業員・熟練技術者の確保難」が上位。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

・新商品開発
・人材確保
・価格交渉

・脱炭素
・BCP

●非製造業

・DXの推進
・人材確保・育成
・価格交渉

・事業拡大
・販路拡大

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

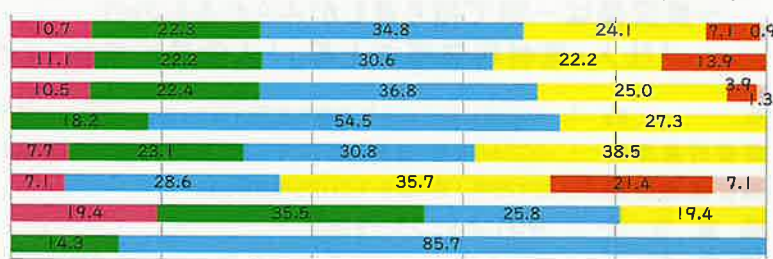
【業況DI値】

今期(2024年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 1.8 前期比 ▲1.8)
製造業	(今期 ▲2.8 前期比 ▲5.0)
非製造業	(今期 4.0 前期比 ▲0.1)
建設業	(今期 ▲9.1 前期比 ▲2.0)
小売業	(今期 ▲7.7 前期比 38.5)
卸売業	(今期 ▲50.0 前期比 ▲63.3)
サービス業	(今期 35.5 前期比 13.0)
その他業	(今期 14.3 前期比 14.3)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2024年7月～12月)の状況

業況DI値は、製造業で▲2.8(前期比▲5.0)、非製造業で4.0(前期比▲0.1)、全業種で1.8(前期比▲1.8)となった。製造業では、前期比、今期ともマイナスとなり、非製造業ではプラス域にあるものの前期比ではややマイナスとなり、特に建設業と卸売業では今期、前期比ともマイナスの厳しい状況が伺えた。製造業の悪化理由として、「仕入価格や原材料価格の高騰」、「需要減退」や「景気低迷」などが挙げられ、非製造業の建設業、卸売業の悪化理由として、「住宅着工件数の減少」「材料費の高騰や経費の増加」や「人手不足」などが挙げられた。一方、サービス業、その他業では「コロナ禍からの回復」「インバウンドの増加」や「価格転嫁」により今期、前期比ともプラスとなり、経済活動の活発化が寄与していることが伺えた。

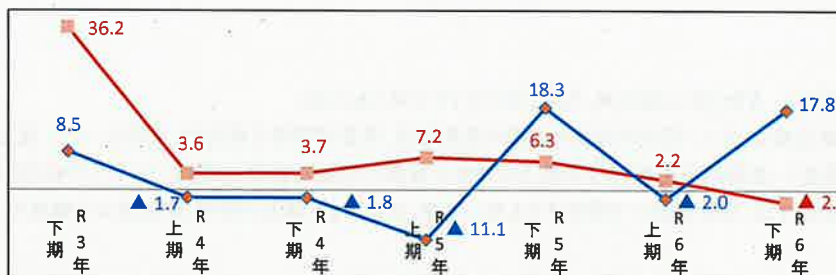
※前期比とは、前回調査(令和6年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 今期のDI値

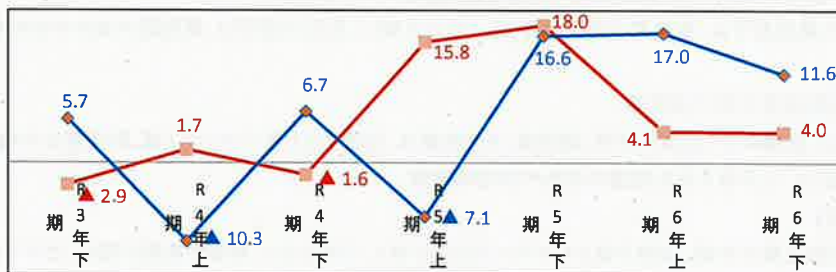
● 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 今期のDI値

● 前期調査時点での
今期見通し

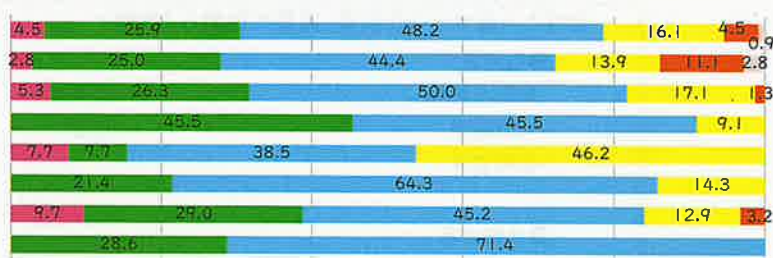


来期(2025年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 9.8 今期比 8.0)
製造業	(見通し 2.8 今期比 5.6)
非製造業	(見通し 13.2 今期比 9.2)
建設業	(見通し 36.4 今期比 45.5)
小売業	(見通し ▲30.8 今期比 ▲23.1)
卸売業	(見通し 7.1 今期比 57.1)
サービス業	(見通し 22.6 今期比 ▲12.9)
その他業	(見通し 28.6 今期比 14.3)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2025年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では5.6ポイント改善の2.8、非製造業では9.2ポイント改善の13.2、全業種で8.0ポイント改善の9.8と見通している。非製造業では、小売業のみ悪化となったものの、製造業、非製造業ともプラスとなり好転する見通しとなった。製造業の好転要因として、「需要の回復」や「新規顧客の増加」が挙げられ、非製造業では、「コロナ禍からの回復」「インバウンド需要の増加」や「価格転嫁や営業努力、作業の効率化」などが好転要因として挙げられた。

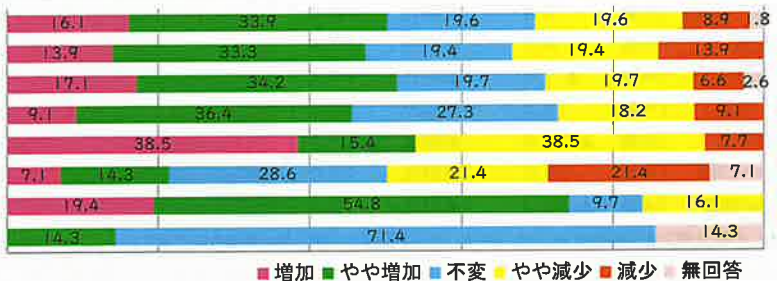
【売上DI値】

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 21.5 前期比 21.5)
製造業	(今期 13.9 前期比 34.0)
非製造業	(今期 25.0 前期比 15.6)
建設業	(今期 18.2 前期比 11.1)
小売業	(今期 7.7 前期比 30.8)
卸売業	(今期 ▲21.4 前期比 ▲34.8)
サービス業	(今期 58.1 前期比 40.6)
その他業	(今期 14.3 前期比 ▲1.1)

(売上)

(単位:%)



今期(2024年7月~12月)の状況

売上DI値は、製造業で13.9(前期比34.0)、非製造業で25.0(前期比15.6)、全業種で21.5(前期比21.5)となり、製造業、非製造業とも、前期比、今期ともプラスとなり、好転傾向が示された。製造業の好転要因として、「受注量の増加」「価格転嫁」「新規販路開拓」などが挙げられた。非製造業では卸売業のみ、今期、前期比ともマイナスとなったものの卸売業を除く全ての業種が今期プラス域(増加、やや増加)で推移した。非製造業の好転要因として、「コロナ禍からの回復」「価格転嫁」や「インバウンドの増加」などが挙げられた。

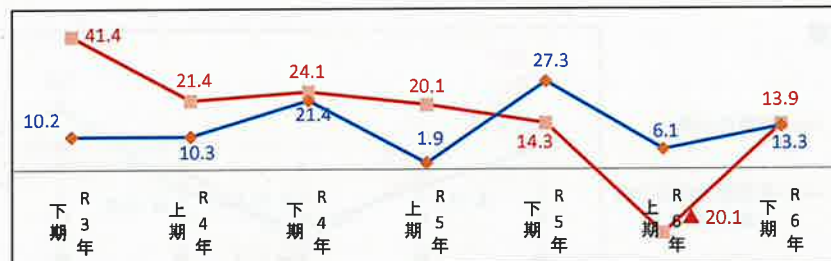
※前期比とは、前回調査(令和6年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

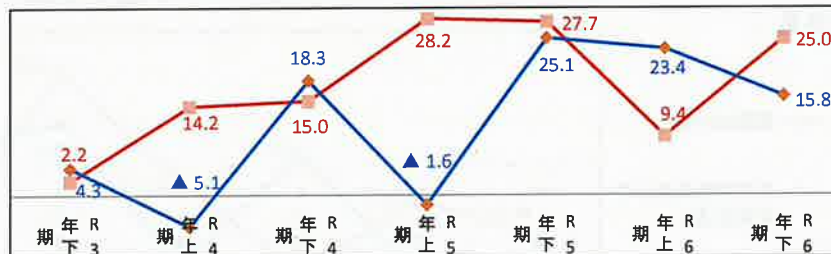
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

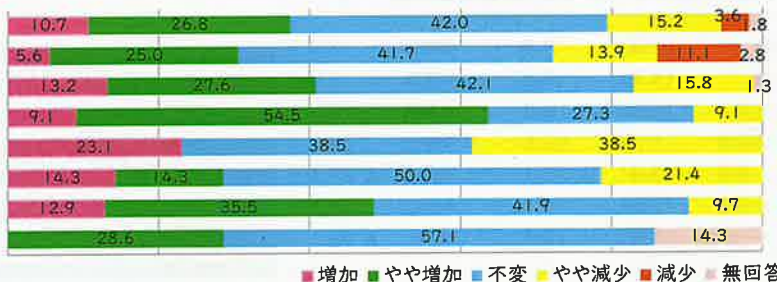


来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 18.7 今期比 ▲2.8)
製造業	(見通し 5.6 今期比 ▲8.3)
非製造業	(見通し 25.0 今期比 0.0)
建設業	(見通し 54.5 今期比 36.3)
小売業	(見通し ▲15.4 今期比 ▲23.1)
卸売業	(見通し 7.2 今期比 28.6)
サービス業	(見通し 38.7 今期比 ▲19.4)
その他業	(見通し 28.6 今期比 14.3)

(売上)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2025年1月~6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲8.3ポイント悪化の5.6、非製造業で0.0ポイントの25.0、全業種で▲2.8ポイント悪化の18.7と見通している。
非製造業のうち、小売業では「仕入価格や燃料費の高騰」などにより悪化傾向の見通しが示されているが、全体として「コロナ禍からの回復」や「価格転嫁」「企業努力」など、今後も売上は回復傾向で推移する見通しとなった。

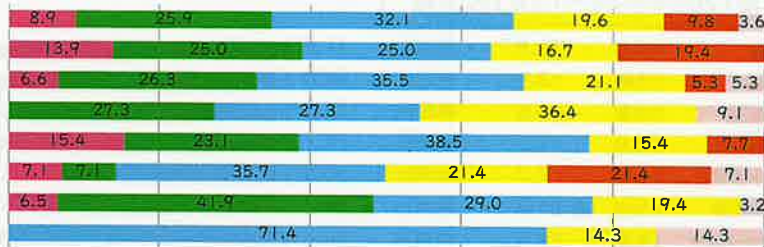
【採算DI値】

今期（2024年7月～12月）のDI値

（採算）

（単位：%）

全業種	（今期 5.4 前期比 17.5）
製造業	（今期 2.8 前期比 18.4）
非製造業	（今期 6.5 前期比 17.0）
建設業	（今期 ▲9.1 前期比 12.3）
小売業	（今期 15.4 前期比 69.3）
卸売業	（今期 ▲28.6 前期比 ▲35.3）
サービス業	（今期 29.0 前期比 24.0）
その他業	（今期 ▲14.3 前期比 8.8）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期（2024年7月～12月）の状況

採算DI値は、製造業で2.8（前期比18.4）、非製造業で6.5（前期比17.0）、全業種で5.4（前期比17.5）となった。製造業、非製造業ともに今期、前期比とも好転となった。製造業、非製造業とも「価格転嫁」「効率化」「原価の見直し」などが好転要因として挙げられた一方、非製造業のうち、建設業、卸売業、その他業で今期マイナスとなり、「経費の増加」「人件費の高騰」や「価格転嫁難」などが悪化要因として挙げられた。

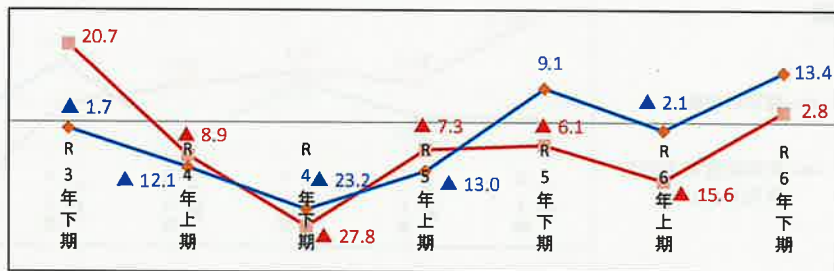
※前期比とは、前回調査（令和6年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

◆ 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

◆ 前期調査時点での
今期見通し



来期（2025年1月～6月）の見通しDI値

（採算）

（単位：%）

全業種	（見通し 9.8 今期比 4.4）
製造業	（見通し 2.8 今期比 0.0）
非製造業	（見通し 13.2 今期比 6.7）
建設業	（見通し 63.6 今期比 72.7）
小売業	（見通し ▲23.1 今期比 ▲38.5）
卸売業	（見通し 7.1 今期比 35.7）
サービス業	（見通し 12.9 今期比 ▲16.1）
その他業	（見通し 14.3 今期比 28.6）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期（2025年1月～6月）の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で2.8、非製造業で6.7ポイント改善の13.2、全業種で4.4ポイント改善の9.8と見通している。製造業、非製造業とも「価格転嫁による売上の上昇」や「新たな事業展開」などを理由に、来期見通しは今期比ともに好転傾向が示された。非製造業のうち、小売業のみマイナスとなり、悪化要因として「燃料費の高騰」や「経費の増加」が挙げられた。

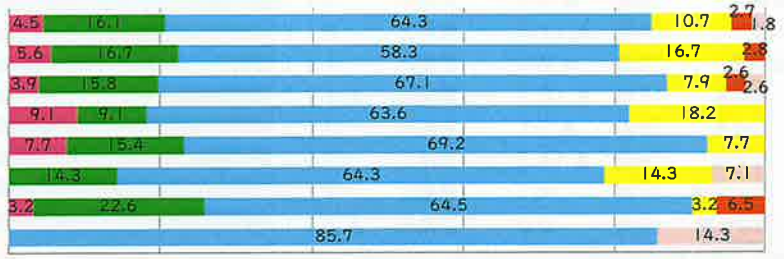
【 資金繰りDI値 】

今期(2024年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 7.2 前期比 8.7)
製造業	(今期 2.8 前期比 16.1)
非製造業	(今期 9.2 前期比 5.0)
建設業	(今期 0.0 前期比 ▲0.1)
小売業	(今期 15.4 前期比 23.1)
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲6.7)
サービス業	(今期 16.1 前期比 13.6)
その他業	(今期 0.0 前期比 ▲23.1)

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2024年7月～12月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で2.8(前期比16.1)、非製造業で9.2(前期比5.0)、全業種で7.2(前期比8.7)となった。
資金繰りDI値については、製造業、非製造業とも、今期、前期比ともプラス域(好転、やや好転)で推移している。製造業では2年ぶりにプラス域に転じ、非製造業では、3期連続で改善傾向が継続している。

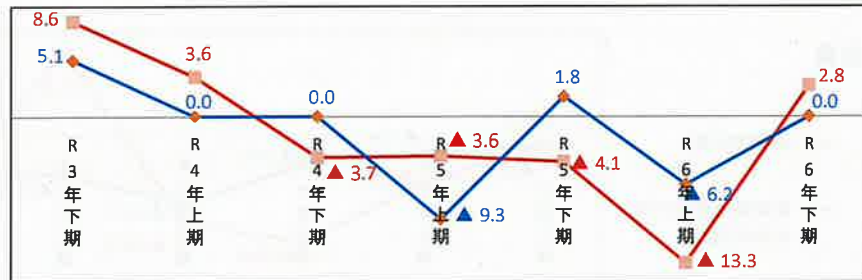
※前期比とは、前回調査(令和6年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

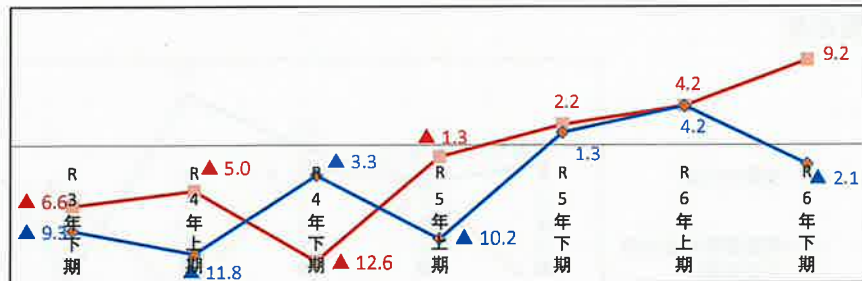
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

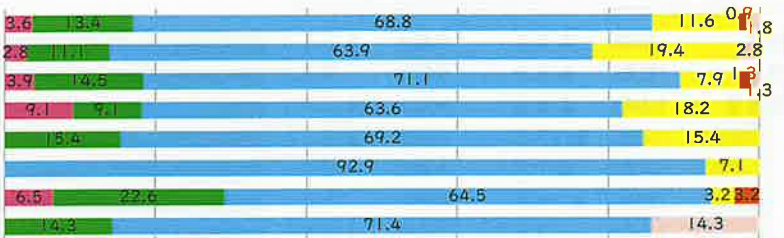


来期(2025年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 4.5 今期比 ▲2.7)
製造業	(見通し ▲5.5 今期比 ▲8.3)
非製造業	(見通し 9.2 今期比 0.0)
建設業	(見通し 0.0 今期比 0.0)
小売業	(見通し 0.0 今期比 ▲15.4)
卸売業	(見通し ▲7.1 今期比 ▲7.1)
サービス業	(見通し 22.7 今期比 6.6)
その他業	(見通し 14.3 今期比 14.3)

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2025年1月～6月)の見通し

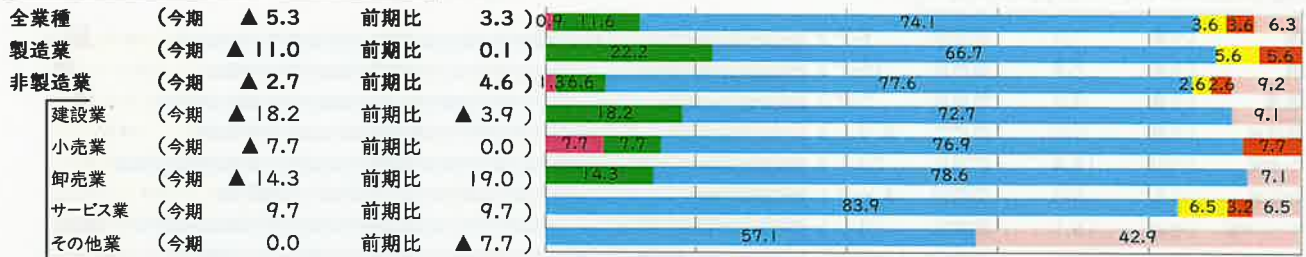
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲8.3ポイント悪化の▲5.5、非製造業で9.2、全業種で▲2.7ポイント悪化の4.5と見通している。製造業では、今期比マイナスとなり、来期は悪化する見通しとなった。非製造業では、来期はプラス域(好転、やや好転)の見通しとなり、資金繰りは改善する見通しとなったが、今後、日銀の金利政策の動向によっては、資金繰りへの更なる影響も懸念され、注視していく必要がある。

【在庫DI値】

今期(2024年7月～12月)のDI値

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期(2024年7月～12月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲11.0(前期比0.1)、非製造業で▲2.7(前期比4.6)、全業種で▲5.3(前期比3.3)となった。製造業、非製造業とも、前期比でプラスとなるも、マイナス域を脱せず、依然として在庫の過剰傾向が続いており、非製造業でもサービス業を除き、全体としては、在庫の過剰傾向が続いている。

※前期比とは、前回調査(令和6年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

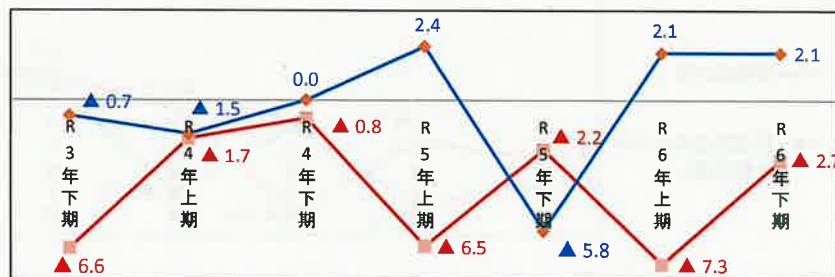
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

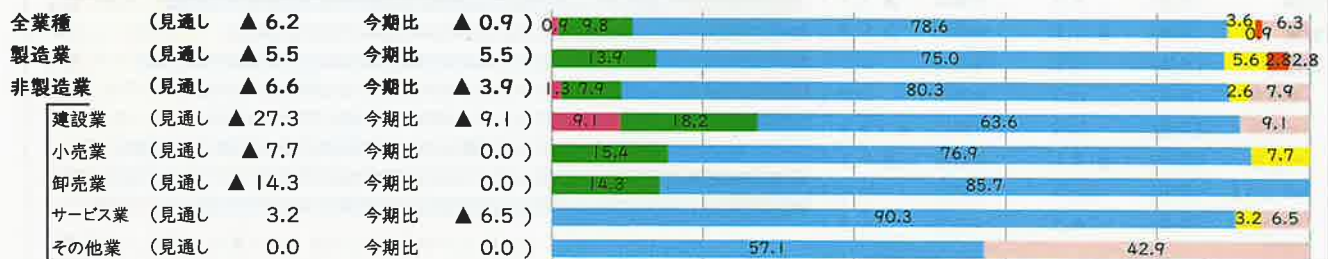
— 前期調査時点での
今期見通し



来期(2025年1月～6月)の見通しDI値

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2025年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で5.5ポイント改善の▲5.5、非製造業で▲3.9ポイント悪化の▲6.6、全業種で▲0.9ポイント悪化の▲6.2と見通している。製造業、非製造業ではサービス業を除き、来期は悪化の見通しとなり、在庫は、過剰傾向が示された。

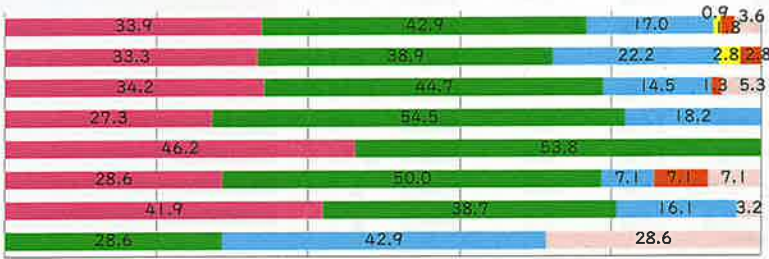
【仕入単価DI値】

今期（2024年7月～12月）のDI値

全業種	（今期 ▲74.1 前期比 0.2）
製造業	（今期 ▲66.6 前期比 22.3）
非製造業	（今期 ▲77.6 前期比 ▲10.3）
建設業	（今期 ▲81.8 前期比 4.0）
小売業	（今期 ▲100.0 前期比 ▲23.0）
卸売業	（今期 ▲71.5 前期比 15.2）
サービス業	（今期 ▲80.6 前期比 ▲23.1）
その他業	（今期 ▲28.6 前期比 17.6）

（仕入単価）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期（2024年7月～12月）の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲66.6（前期比22.3）、非製造業▲77.6（前期比▲10.3）、全業種で▲74.1（前期比0.2）となった。製造業、非製造業ともに全業種で今期マイナスとなり、仕入単価の上昇が継続していることが伺えた。非製造業のうち、小売業、サービス業では前期比マイナスとなり、上昇傾向が強まった結果となった。

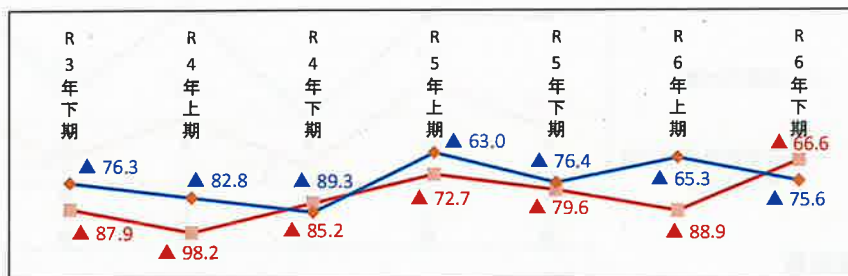
※前期比とは、前回調査（令和6年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

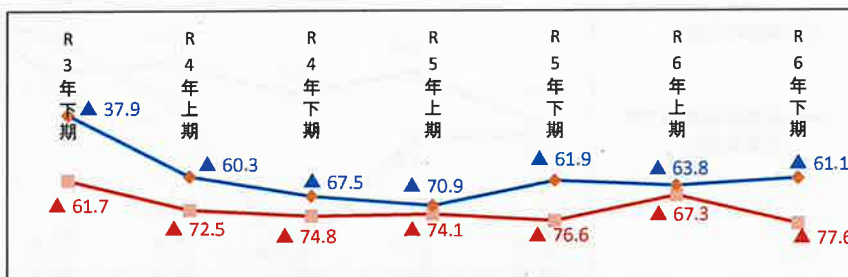
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

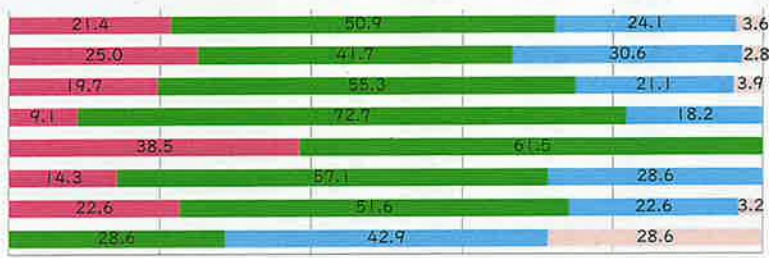


来期（2025年1月～6月）の見通しDI値

全業種	（見通し ▲72.3 今期比 1.8）
製造業	（見通し ▲66.7 今期比 ▲0.1）
非製造業	（見通し ▲75.0 今期比 2.6）
建設業	（見通し ▲81.8 今期比 0.0）
小売業	（見通し ▲100.0 今期比 0.0）
卸売業	（見通し ▲71.4 今期比 0.1）
サービス業	（見通し ▲74.2 今期比 6.4）
その他業	（見通し ▲28.6 今期比 0.0）

（仕入単価）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期（2025年1月～6月）の見通し

今期と比較した仕入単価の見通しDI値は、製造業で▲0.1ポイント悪化の▲66.7、非製造業で2.6ポイント改善の▲75.0、全業種で1.8ポイント改善の▲72.3と見通している。来期の見通しは、製造業、非製造業とも全業種で依然大幅なマイナス域（上昇、やや上昇）で推移し、今後も利益率の圧迫など影響は続くものと考えられる。

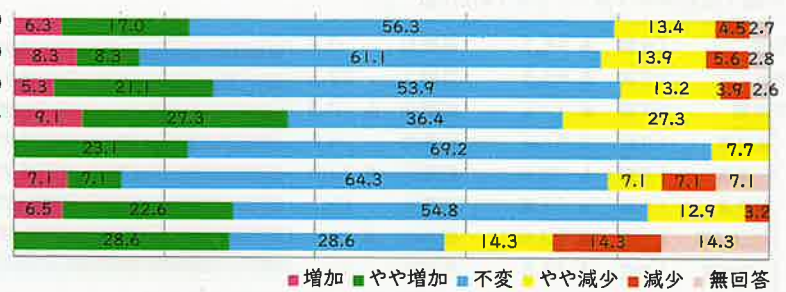
【 従業員数DI値 】

今期（2024年7月～12月）のDI値

全業種	（今期）	5.4	前期比	▲ 6.7
製造業	（今期）	▲ 2.9	前期比	▲ 5.2
非製造業	（今期）	9.3	前期比	▲ 7.5
建設業	（今期）	9.1	前期比	▲ 12.4
小売業	（今期）	15.4	前期比	23.1
卸売業	（今期）	0.0	前期比	▲ 33.3
サービス業	（今期）	13.0	前期比	▲ 7.0
その他業	（今期）	0.0	前期比	▲ 7.7

（従業員数）

（単位：%）



今期（2024年7月～12月）の状況

従業員数DI値は、製造業で▲2.9（前期比▲5.2）、非製造業で9.3（前期比▲7.5）、全業種で5.4（前期比▲6.7）となった。製造業では今期、前期比ともマイナス（減少傾向）であり、非製造業では小売業を除く全ての業種で前期比はマイナスとなるも今期プラスとなり増加傾向を示した。一方で従業員の過不足については全業種（DI値+36.5）で大幅に不足しており、「人手不足」が深刻な経営課題となっていることが伺えた。

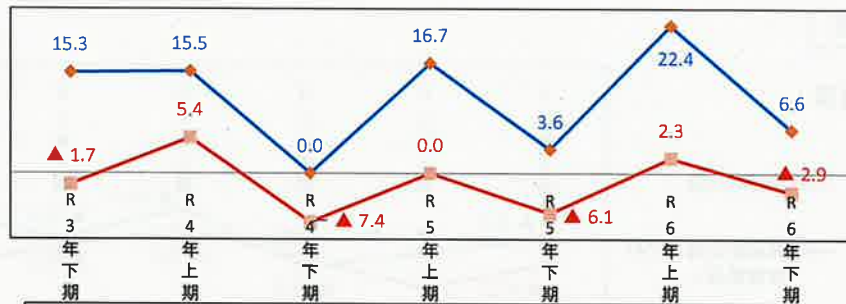
※前期比とは、前回調査（令和6年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

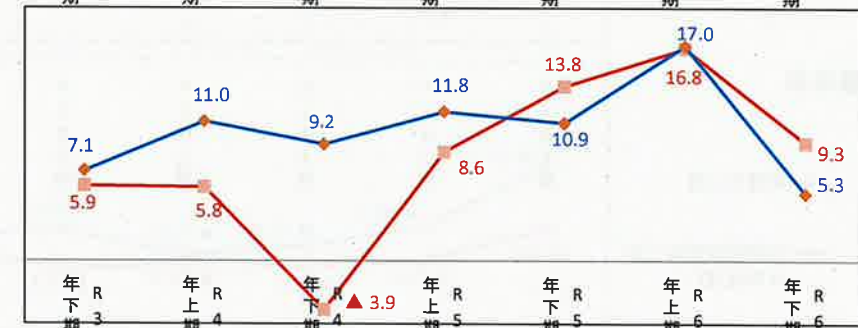
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し



来期（2025年1月～6月）の見通しDI値

全業種	（見通し）	17.0	今期比	11.6
製造業	（見通し）	11.1	今期比	14.0
非製造業	（見通し）	19.7	今期比	10.4
建設業	（見通し）	54.5	今期比	45.4
小売業	（見通し）	7.7	今期比	▲ 7.7
卸売業	（見通し）	21.4	今期比	21.4
サービス業	（見通し）	9.7	今期比	▲ 3.3
その他業	（見通し）	28.6	今期比	28.6

（従業員数）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不变 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期（2025年1月～6月）の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で14.0ポイント上昇の11.1、非製造業で10.4ポイント上昇の19.7、全業種では11.6ポイント上昇の17.0と見通している。製造業、非製造業とも、今期比で増加傾向を示し、非製造業では小売業、サービス業で今期比マイナスとなったが、全ての業種でプラス域（増加、やや増加）の増加傾向となり、全体としては増加の見通しとなった。従業員の過不足については、来期においても全業種（DI値+29.5）で不足の見通しとなっており、全体として従業員の増加を見通しているものの「人手不足」の解消には至らず、引き続き深刻な課題と捉えられていることが伺えた。

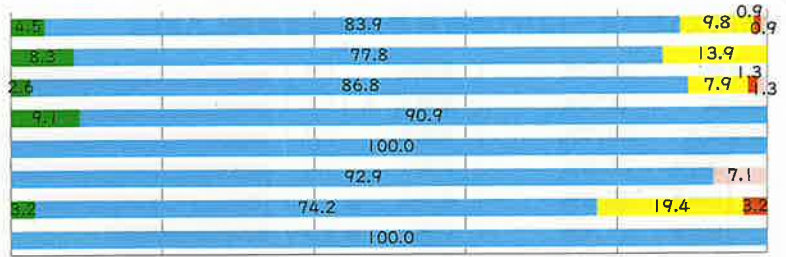
【設備DI値】

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 6.2 前期比 ▲5.2)
製造業	(今期 5.6 前期比 ▲5.5)
非製造業	(今期 6.6 前期比 ▲5.0)
建設業	(今期 ▲9.1 前期比 ▲37.7)
小売業	(今期 0.0 前期比 ▲7.7)
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲6.7)
サービス業	(今期 19.4 前期比 11.9)
その他業	(今期 0.0 前期比 ▲15.4)

(設備)

(単位:%)



■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2024年7月~12月)の状況

設備DI値は、製造業で5.6(前期比▲5.5)、非製造業で6.6(前期比▲5.0)、全業種で6.2(前期比▲5.2)となった。製造業、非製造業ともにプラス域で推移し、前期に引き続き設備不足の傾向が伺えた。非製造業のうち、とりわけ建設業では今期、前期比ともマイナスとなり過剰傾向が伺えた。

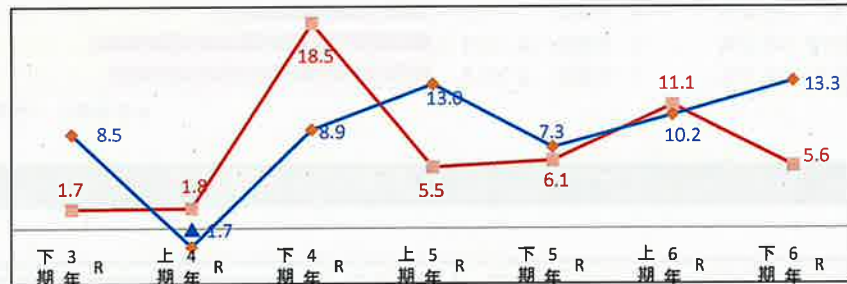
※前期比とは、前回調査(令和6年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

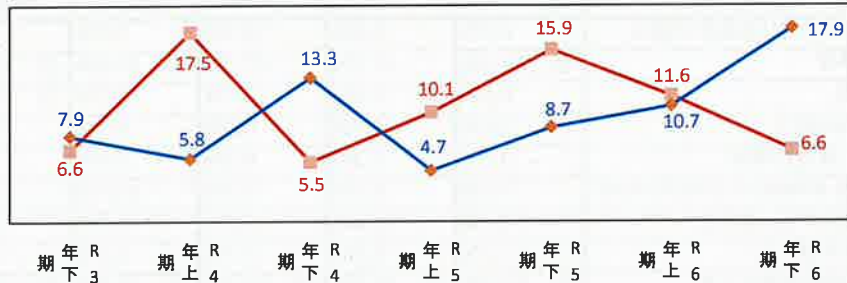
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し

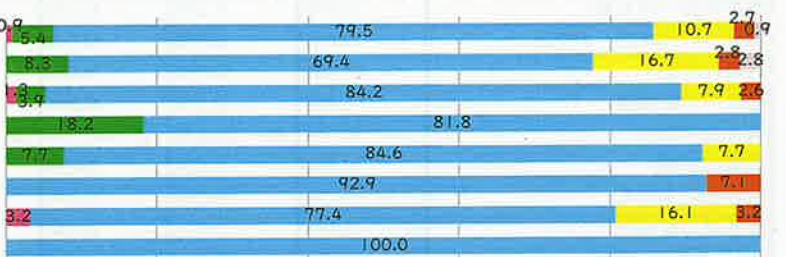


来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 7.1 今期比 0.9)
製造業	(見通し 11.2 今期比 5.6)
非製造業	(見通し 5.3 今期比 ▲1.3)
建設業	(見通し ▲18.2 今期比 ▲9.1)
小売業	(見通し 0.0 今期比 0.0)
卸売業	(見通し 7.1 今期比 7.1)
サービス業	(見通し 16.1 今期比 ▲3.3)
その他業	(見通し 0.0 今期比 0.0)

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

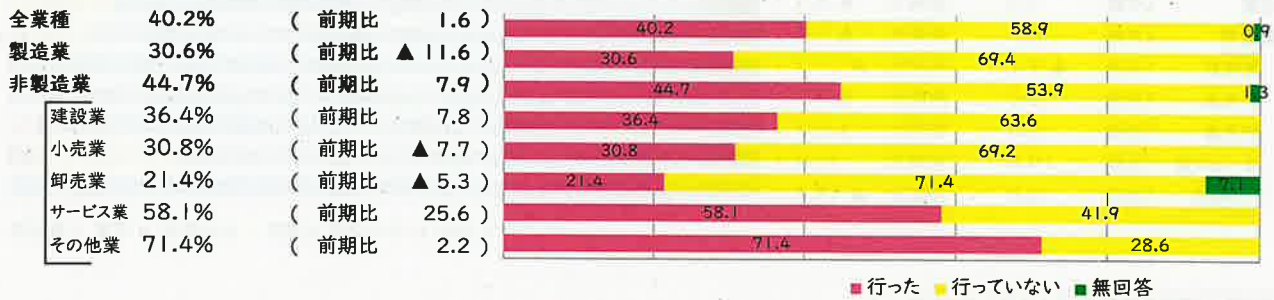
今期と比較した来期(2025年1月~6月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で+5.6ポイントの11.2、非製造業で▲1.3ポイントの5.3、全業種で+0.9ポイントの7.1と見通しており、来期においても製造業、非製造業のうち建設業を除き設備不足が続く見通しとなった。

【 新規設備投資 】

◆ 今期（2024年7月～12月）の新規設備投資を実施した割合

（単位：%）



◆ 来期（2025年1月～6月）の新規設備投資を計画している割合

（単位：%）



【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	2.8%	6.6%	18.2%	7.7%	0.0%	6.5%	0.0%
需要の停滞	② 44.4%	19.7%	27.3%	② 30.8%	① 42.9%	3.2%	14.3%
為替差損	5.6%	6.6%	0.0%	7.7%	② 28.6%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	5.6%	3.9%	0.0%	0.0%	14.3%	3.2%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	14.3%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	5.6%	5.3%	0.0%	23.1%	0.0%	3.2%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	19.4%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	12.9%	14.3%
原材料の不足	11.1%	3.9%	9.1%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 47.2%	① 36.8%	① 54.5%	① 38.5%	① 42.9%	② 35.5%	0.0%
下請負単価の上昇	2.8%	9.2%	② 45.5%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%
官公需要の停滞	2.8%	1.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	2.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
金利負担の増加	5.6%	7.9%	9.1%	7.7%	7.1%	6.5%	14.3%
事業資金の借入難	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	3.9%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	16.7%	9.2%	0.0%	7.7%	7.1%	12.9%	14.3%
人件費の増加	16.7%	① 36.8%	② 45.5%	② 30.8%	21.4%	① 45.2%	② 28.6%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	2.8%	9.2%	0.0%	7.7%	7.1%	12.9%	14.3%
従業員・熟練技術者の確保難	③ 38.9%	② 35.5%	② 45.5%	② 30.8%	7.1%	① 45.2%	① 42.9%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	11.1%	17.1%	18.2%	15.4%	③ 21.4%	9.7%	① 42.9%
コロナの影響	2.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
ウクライナ情勢の影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	8.3%	5.3%	0.0%	7.7%	7.1%	3.2%	14.3%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

景況調査結果

- 目的： 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間： 2024年7月1日から2024年12月31日（2024年（令和6年）下期）
- 調査実施期間： 2025年1月6日から2025年2月5日
- 調査方法： 郵送によるアンケート方式
- 調査対象： 当所管内会員事業所の小規模事業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 310 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数： 54 （回答率 17.4%）

業種	従業員数	0～5人	6～20人	合計
製造業		9	11	20
建設業		2	5	7
小売業		11		11
卸売業		4		4
サービス業		10	0	10
その他業		2		2
合計		38	16	54

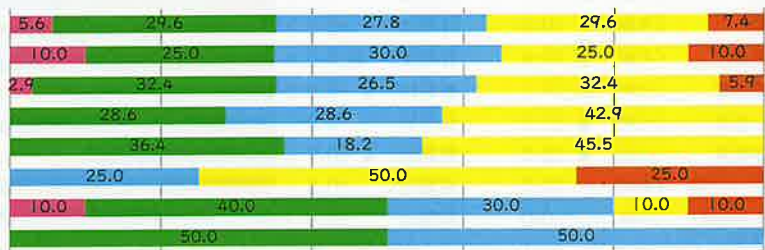
業況DI

今期（2024年7月～12月）のDI値

全業種	（今期 ▲1.8 前期比 0.9）
製造業	（今期 0.0 前期比 0.0）
非製造業	（今期 ▲3.0 前期比 1.0）
建設業	（今期 ▲14.3 前期比 ▲26.8）
小売業	（今期 ▲9.1 前期比 9.1）
卸売業	（今期 ▲75.0 前期比 ▲17.9）
サービス業	（今期 30.0 前期比 1.4）
その他業	（今期 50.0 前期比 150.0）

（業況）

（単位：%）

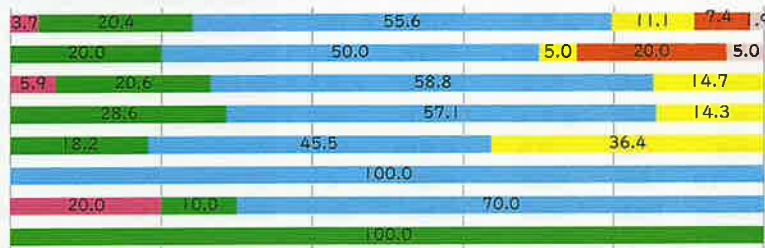


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期（2025年1月～6月）の見通しDI値

全業種	（来期 5.6 今期比 7.4）
製造業	（来期 ▲5.0 今期比 ▲5.0）
非製造業	（来期 11.8 今期比 14.8）
建設業	（来期 14.3 今期比 28.6）
小売業	（来期 ▲18.2 今期比 ▲9.1）
卸売業	（来期 0.0 今期比 75.0）
サービス業	（来期 30.0 今期比 0.0）
その他業	（来期 100.0 今期比 50.0）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

売上DI

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 12.9 前期比 26.4)
製造業	(今期 5.0 前期比 38.3)
非製造業	(今期 17.6 前期比 21.6)
建設業	(今期 57.2 前期比 44.7)
小売業	(今期 ▲9.0 前期比 ▲9.0)
卸売業	(今期 ▲50.0 前期比 ▲21.4)
サービス業	(今期 40.0 前期比 30.5)
その他業	(今期 50.0 前期比 150.0)

(売上)

(単位:%)

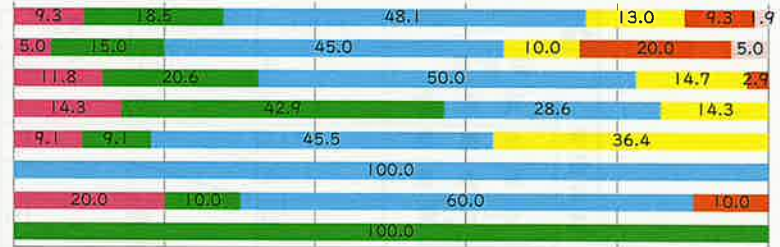


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 5.5 今期比 ▲7.4)
製造業	(来期 ▲10.0 今期比 ▲15.0)
非製造業	(来期 14.8 今期比 ▲2.8)
建設業	(来期 42.9 今期比 ▲14.3)
小売業	(来期 ▲18.2 今期比 ▲9.2)
卸売業	(来期 0.0 今期比 50.0)
サービス業	(来期 20.0 今期比 ▲20.0)
その他業	(来期 100.0 今期比 50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

採算DI

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 ▲11.1 前期比 5.0)
製造業	(今期 10.0 前期比 30.8)
非製造業	(今期 ▲23.6 前期比 ▲9.6)
建設業	(今期 ▲57.1 前期比 ▲19.6)
小売業	(今期 ▲27.3 前期比 0.0)
卸売業	(今期 ▲75.0 前期比 ▲60.7)
サービス業	(今期 20.0 前期比 10.5)
その他業	(今期 0.0 前期比 66.6)

(採算)

(単位:%)

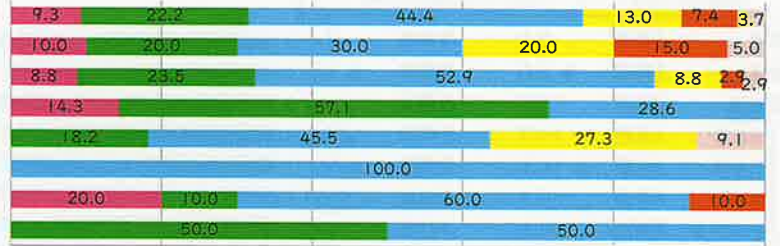


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 11.1 今期比 22.2)
製造業	(来期 ▲5.0 今期比 ▲15.0)
非製造業	(来期 20.6 今期比 44.2)
建設業	(来期 71.4 今期比 128.5)
小売業	(来期 ▲9.1 今期比 18.2)
卸売業	(来期 0.0 今期比 75.0)
サービス業	(来期 20.0 今期比 0.0)
その他業	(来期 50.0 今期比 50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

資金繰りDI

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 ▲1.8 前期比 9.0)
製造業	(今期 ▲5.0 前期比 15.9)
非製造業	(今期 0.0 前期比 6.0)
建設業	(今期 ▲14.3 前期比 ▲1.8)
小売業	(今期 0.0 前期比 18.2)
卸売業	(今期 ▲25.0 前期比 ▲10.7)
サービス業	(今期 20.0 前期比 10.5)
その他業	(今期 0.0 前期比 33.3)

(資金繰り)

(単位:%)

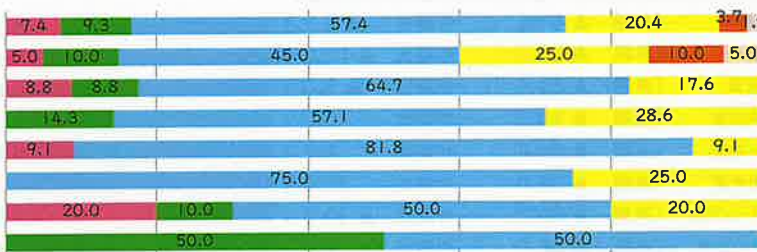


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲7.4 今期比 ▲5.6)
製造業	(来期 ▲20.0 今期比 ▲15.0)
非製造業	(来期 0.0 今期比 0.0)
建設業	(来期 ▲14.3 今期比 0.0)
小売業	(来期 0.0 今期比 0.0)
卸売業	(来期 ▲25.0 今期比 0.0)
サービス業	(来期 10.0 今期比 ▲10.0)
その他業	(来期 50.0 今期比 50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

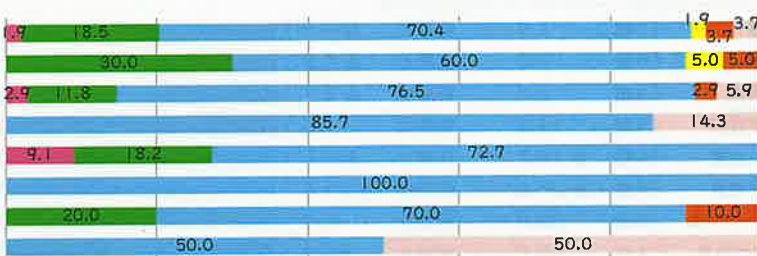
在庫DI

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 ▲14.8 前期比 ▲9.4)
製造業	(今期 ▲20.0 前期比 ▲15.8)
非製造業	(今期 ▲11.8 前期比 ▲5.8)
建設業	(今期 0.0 前期比 0.0)
小売業	(今期 ▲27.3 前期比 ▲9.1)
卸売業	(今期 0.0 前期比 28.6)
サービス業	(今期 ▲10.0 前期比 ▲14.8)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

(在庫)

(単位:%)

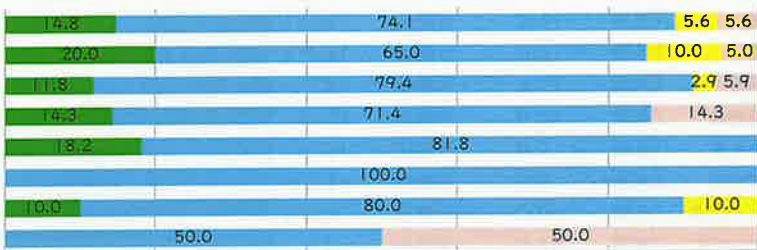


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■過剰 ■やや過剰 ■適正 ■やや不足 ■不足 ■無回答

来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲9.2 今期比 5.6)
製造業	(来期 ▲10.0 今期比 10.0)
非製造業	(来期 ▲8.9 今期比 2.9)
建設業	(来期 ▲14.3 今期比 ▲14.3)
小売業	(来期 ▲18.2 今期比 9.1)
卸売業	(来期 0.0 今期比 0.0)
サービス業	(来期 0.0 今期比 10.0)
その他業	(来期 0.0 今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■過剰 ■やや過剰 ■適正 ■やや不足 ■不足 ■無回答

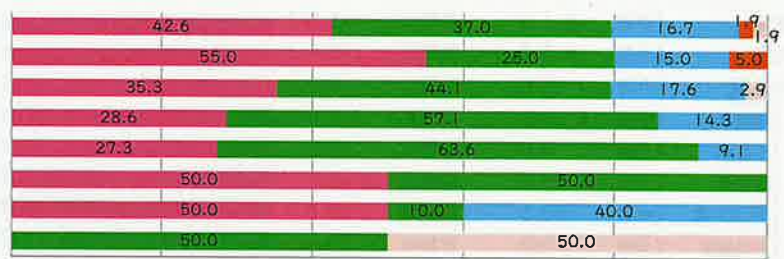
仕入単価DI

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 ▲77.7	前期比 ▲2.2)
製造業	(今期 ▲75.0	前期比 25.0)
非製造業	(今期 ▲79.4	前期比 ▲15.4)
建設業	(今期 ▲85.7	前期比 1.8)
小売業	(今期 ▲90.9	前期比 ▲27.2)
卸売業	(今期 ▲100.0	前期比 0.0)
サービス業	(今期 ▲60.0	前期比 ▲12.5)
その他業	(今期 ▲50.0	前期比 ▲16.7)

(仕入単価)

(単位:%)

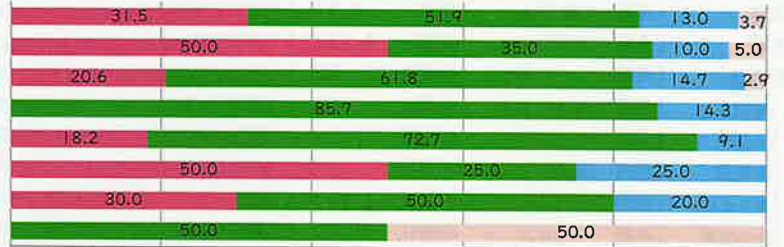


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲83.4	今期比 ▲5.7)
製造業	(来期 ▲85.0	今期比 ▲10.0)
非製造業	(来期 ▲82.4	今期比 ▲3.0)
建設業	(来期 ▲85.7	今期比 0.0)
小売業	(来期 ▲90.9	今期比 0.0)
卸売業	(来期 ▲75.0	今期比 25.0)
サービス業	(来期 ▲80.0	今期比 ▲20.0)
その他業	(来期 ▲50.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

従業員数DI

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 1.9	前期比 ▲4.8)
製造業	(今期 0.0	前期比 ▲8.3)
非製造業	(今期 2.9	前期比 ▲3.1)
建設業	(今期 14.3	前期比 1.8)
小売業	(今期 ▲18.2	前期比 ▲9.1)
卸売業	(今期 ▲25.0	前期比 ▲25.0)
サービス業	(今期 20.0	前期比 5.7)
その他業	(今期 50.0	前期比 50.0)

従業員数

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 14.8	今期比 12.9)
製造業	(来期 10.0	今期比 10.0)
非製造業	(来期 17.6	今期比 14.7)
建設業	(来期 42.9	今期比 28.6)
小売業	(来期 0.0	今期比 18.2)
卸売業	(来期 0.0	今期比 25.0)
サービス業	(来期 20.0	今期比 0.0)
その他業	(来期 50.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

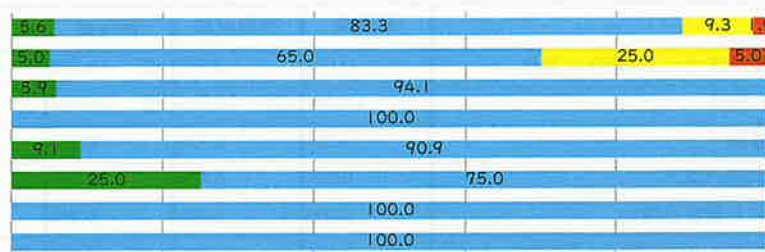
設備DI

今期(2024年7月~12月)のDI値

全業種	(今期 5.6 前期比 ▲6.5)
製造業	(今期 25.0 前期比 4.2)
非製造業	(今期 ▲5.9 前期比 ▲13.9)
建設業	(今期 0.0 前期比 ▲25.0)
小売業	(今期 ▲9.1 前期比 0.0)
卸売業	(今期 ▲25.0 前期比 ▲25.0)
サービス業	(今期 0.0 前期比 ▲14.3)
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)

設備

(単位:%)

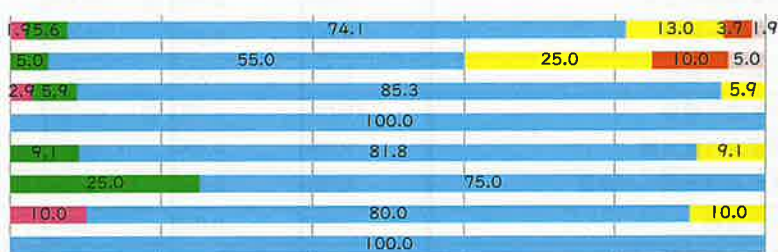


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2025年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 9.2 今期比 3.6)
製造業	(来期 30.0 今期比 5.0)
非製造業	(来期 ▲2.9 今期比 3.0)
建設業	(来期 0.0 今期比 0.0)
小売業	(来期 0.0 今期比 9.1)
卸売業	(来期 ▲25.0 今期比 0.0)
サービス業	(来期 0.0 今期比 0.0)
その他業	(来期 0.0 今期比 0.0)



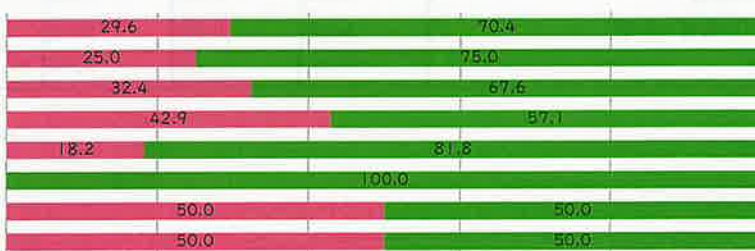
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(2024年7月~12月)の新規設備投資を実施した割合

全業種	(今期 29.6% 前期比 13.4)
製造業	(今期 25.0% 前期比 4.2)
非製造業	(今期 32.4% 前期比 18.4)
建設業	(今期 42.9% 前期比 42.9)
小売業	(今期 18.2% 前期比 0.0)
卸売業	(今期 0.0% 前期比 0.0)
サービス業	(今期 50.0% 前期比 26.2)
その他業	(今期 50.0% 前期比 50.0)

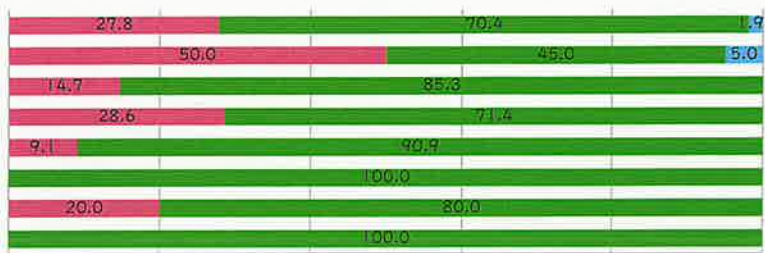


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2025年1月~6月)の新規設備投資を計画している割合

全業種	(来期 27.8% 今期比 ▲1.8)
製造業	(来期 50.0% 今期比 25.0)
非製造業	(来期 14.7% 今期比 ▲17.7)
建設業	(来期 28.6% 今期比 ▲14.3)
小売業	(来期 9.1% 今期比 ▲9.1)
卸売業	(来期 0.0% 今期比 0.0)
サービス業	(来期 20.0% 今期比 ▲30.0)
その他業	(来期 0.0% 今期比 ▲50.0)



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

直面している課題

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	2.9%	③ 14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞	② 40.0%	② 23.5%	② 28.6%	① 36.4%	0.0%	③ 20.0%	0.0%
為替差損	5.0%	5.9%	0.0%	0.0%	② 50.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	0.0%	5.9%	0.0%	③ 9.1%	0.0%	10.0%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	① 50.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	5.0%	14.7%	0.0%	② 18.2%	③ 25.0%	③ 20.0%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	③ 25.0%	5.9%	0.0%	③ 9.1%	0.0%	10.0%	0.0%
原材料の不足	10.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 55.0%	① 47.1%	① 71.4%	① 36.4%	① 75.0%	① 40.0%	0.0%
下請負単価の上昇	5.0%	5.9%	② 28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	5.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	① 50.0%
金利負担の増加	10.0%	2.9%	③ 14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	2.9%	0.0%	③ 9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	5.9%	0.0%	② 18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	20.0%	11.8%	③ 14.3%	③ 9.1%	③ 25.0%	10.0%	0.0%
人件費の増加	10.0%	17.6%	① 71.4%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	0.0%	11.8%	0.0%	② 18.2%	0.0%	③ 20.0%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	③ 25.0%	③ 20.6%	② 28.6%	② 18.2%	③ 25.0%	③ 20.0%	0.0%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	10.0%	③ 20.6%	③ 14.3%	② 18.2%	0.0%	② 30.0%	① 50.0%
コロナの影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ウクライナ情勢の影響	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5.0%	11.8%	0.0%	③ 9.1%	③ 25.0%	10.0%	① 50.0%